

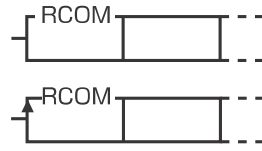
KV-7500/7300

KV-5500/5000/3000

KV-1000

KV Nano

RCOM @RCOM



コメント読み出し

デバイスのコメントを読み出します。

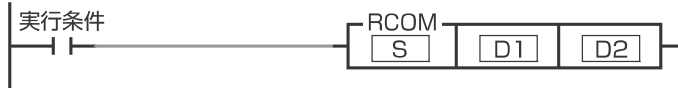
KV-7500/7300

KV-5500/5000/3000

KV Nano

ラダープログラム

入力方法

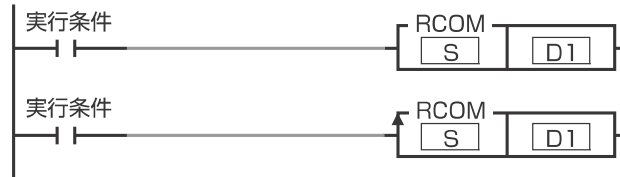


RCOM S D1 D2

KV-1000

ラダープログラム

入力方法



RCOM S D1

@RCOM S D1

オペランド	使用可能デバイス (): KV-1000は対応していません																	インデックス 修飾		
	ビットデバイス							ワードデバイス							定数	間接指定	ローカル デバイス		:#/:Z	
	R	(DR)	MR LR (B)	T	C	CTC	CR	DM TM (W)	EM FM (ZF)	T	C	CTH	CTC	Z						CM
S	○	-	○	○	○	○※6	○	○※1	○※5	○	○	○※6	○※6	-	○※1	-	-	○※2	○	○※2
D1	○	-	○	-	-	-	○	○※1	○※5	-	-	-	-	-	○※1	-	-	○	○	○
D2	○	-	○	-	-	-	○	○※1	○※5	-	-	-	-	-	○※1	-	-	○	○	○
オペランド	説明																			
S	コメントを読み出すデバイスを指定します。																			
D1	読み出したコメントを格納するデバイスを指定します。*3 *4																			
D2	通知ビットデバイスを指定します。*3 *4																			

※1 KV-7000シリーズCPUユニット、CPU機能バージョン2.0以降のKV-5000/3000シリーズCPUユニット、KV Nanoシリーズ基本ユニットで使用できます。

📖 「KV-5000/3000 CPU機能バージョンについて」(2ページ)

※2 ワードデバイスのビット指定を使用する場合は、使用できません。

※3 ビットデバイスではチャンネルの先頭デバイスを指定してください。

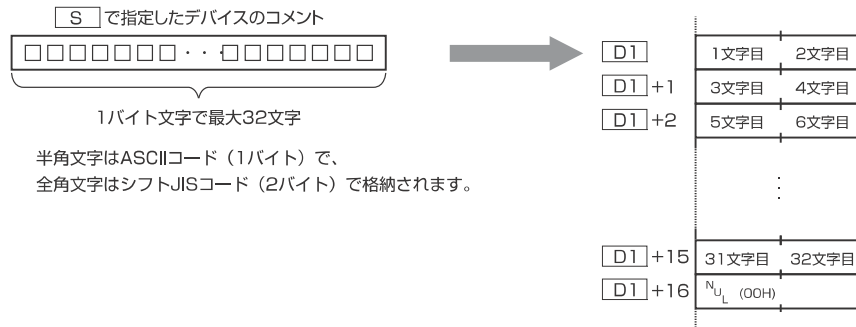
※4 間接指定、インデックス修飾をしたデバイスを指定した場合、動作開始時に指定したデバイスに書き込みます。

※5 KV Nanoシリーズでは、EM、FM(ZF)は使用できません。

※6 KV-7000シリーズでは、CTH、CTCは使用できません。

動作説明

RCOM [KV-1000] 実行条件がONのとき、[S] で指定したデバイスのコメントを読み出し、[D1] で指定したデバイスを先頭に格納します。文字列の最後にはNULL(00H)が格納されます。扱える文字列は1バイト文字で最大32文字です。



[KV-5500/5000/3000, KV Nanoシリーズ] 実行条件の立ち上がりでKV-1000と同様の処理を実行します。[D2]には完了通知が書き込まれ、命令実行開始時にOFF、コメント読み出し完了時にONします。

[KV-7500/7300] 実行条件の立ち上がりで、KV-1000と同様の処理を実行します。扱える文字数は、最大で32文字で、すべて半角文字の場合33バイト(32バイト+NULL)、すべて全角文字の場合、65バイト(2×32バイト+NULL)占有します。また、格納される際の文字コードはプロジェクト言語設定に従います。デバイスコメント内に、プロジェクト言語設定に存在しない文字が使用されている場合、"_"に置換してデバイスコメントを読み出します。

！ ポイント

- ローカルデバイスコメントとグローバルデバイスコメントが両方存在する場合は、ローカルデバイスコメントが読み出されます。
- [KV-7500/7300/5500/5000/3000, KV Nanoシリーズ] 複数のデバイスコメントを読み出す場合は、[D2]を使用してコメントの読み出しが完了してから、次のコメントを読み出してください。
- KV-7000シリーズの場合、コメント1(固定)のデバイスコメントを読み出します。

@RCOM 実行条件の立ち上がりで、1スキャンだけ実行します。

演算フラグ

CR2009	変化なし
CR2010	変化なし
CR2011	変化なし
CR2012	以下のいずれかの条件が成立した場合はON、それ以外はOFF。 <ul style="list-style-type: none"> [D1] [D2] にビットデバイスを指定したときにチャンネルの先頭デバイス以外を指定した場合 [D1] [D2] に間接指定でタイマ・カウンタを指定した場合 間接指定・インデックス修飾の範囲が不適切な場合 [KV-1000] RUN中書き込みを実行している場合

※ CR2012がONした場合、命令は実行されません。

[KV-7500/7300/5500/5000/3000] CR2012がONした場合、CM5150～CM5176にエラーの詳細情報が格納されます。

[KV Nanoシリーズ] CR2012がONした場合、CM2250～CM2276にエラーの詳細情報が格納されます。

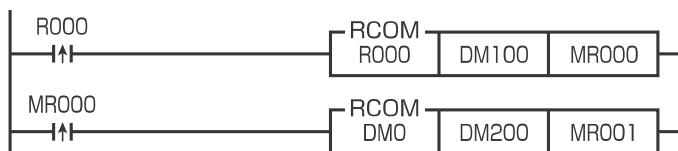
📖 「CR/CM一覧」(付-71ページ)

ASC
RASC
DASC
RDASC
HASC
RHASC
FASC
RFASC
LEN
SMOV
SADD
SRGHT
SLEFT
SMID
SRPLC
SINS
SDEL
STRIM
SFIND
SFINDN
SCMP
DISS
UNIS
RCOM
CPSASC
RCPSASC

サンプルプログラム

■ KV-7500/7300/5500/5000/3000、KV Nanoシリーズ

入力リレーR000のデバイスコメント「起動スイッチ」をDM100に、データメモリDM0のデバイスコメント「ワーク生産数」をDM200に格納します。

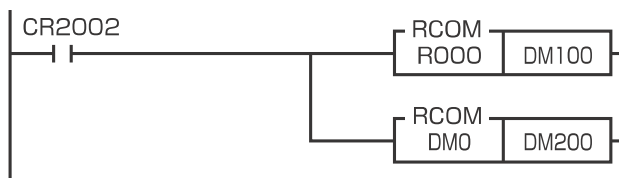


〈ニモニックリスト〉

```
LDP R000
RCOM R000 DM100 MR000
LDP MR000
RCOM DM0 DM200 MR001
```

■ KV-1000

入力リレーR000のデバイスコメント「起動スイッチ」をDM100に、データメモリDM0のデバイスコメント「ワーク生産数」をDM200に格納します。



〈ニモニックリスト〉

```
LD CR2002
RCOM R000 DM100
RCOM DM0 DM200
```

DM100 :	起(8B4EH)
DM101 :	動(93AEH)
DM102 :	ス(BDH) イ(B2H)
DM103 :	ッ(AFH) チ(CIH)
DM104 :	^N _U _L (00H)

DM200 :	ワ(45H) ー(46H)
DM201 :	ク(45H) 生(90)
DM202 :	B7H) 産(8E)
DM203 :	59H) 数(90)
DM204 :	94H) ^N _U _L (00H)